

**製品名: Raf1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab03403**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 73 kDa; Observed MW: 73 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RAF1
別名	RAF1; RAF; RAF proto-oncogene serine/threonine-protein kinase; Proto-oncogene c-RAF; cRaf; Raf-1
遺伝子 ID	5894
SwissProt ID	P04049
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

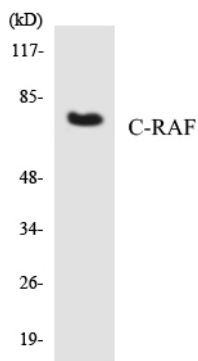
Raf-1 は MAP キナーゼキナーゼキナーゼ (MAP3K) であり、膜結合型 GTPase である Ras ファミリーの下流で機能し、Ras ファミ

リーに直接結合します。活性化された Raf-1 はリン酸化され、二重特異性タンパク質キナーゼである MEK1 および MEK2 を活性化します。MEK1 および MEK2 は、さらにリン酸化され、セリン/スレオニン特異的タンパク質キナーゼである ERK1 および ERK2 を活性化します。

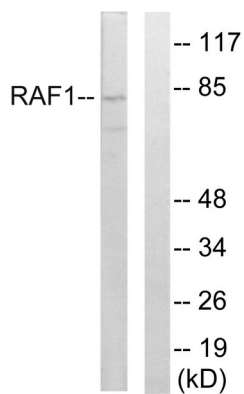
## 研究分野

シグナル伝達

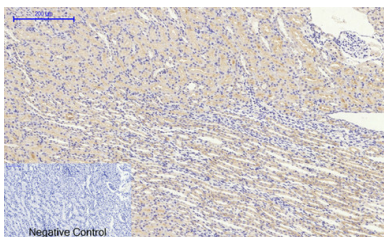
## 画像データ



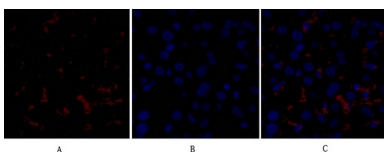
Raf1 抗体を使用した HepG2 溶解物中の Raf1 のウェスタン ブロット分析。



ラット肝ライセート中の Raf1 を Raf1 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Raf1 抗体を用いたパラフィン包埋ラット腎組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



Raf1 抗体 (赤) と DAPI (青) を使用したマウス肝臓中の Raf1 の免疫蛍光分析。